

## 袖ヶ浦さつき台病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究の共同研究機関となっております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供される事を希望しない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

①研究課題名	千葉県内の精神科病院におけるクロザピン(CLZ)、持効性注射製剤(LAI)、修正型電気けいれん療法(m-ECT)の使用に関する実態調査
②承認番号	2023-08
③当院の研究責任者	石井 宏樹 (精神科 医長)
④他の研究機関及び各施設の研究責任者	医療法人学術会 木村病院 千葉県精神科医療センター 平田 豊明
⑤本研究の目的	県内の複数の精神科病院が共同で、クロザピン(CLZ)、持効性注射製剤(LAI)、修正型電気けいれん療法(m-ECT)による治療が、どの程度実施されているのか(効果があったのか)を調べる研究です。
⑥研究対象期間	2023年9月21日～2025年3月末日 この研究は、倫理委員会の承認を受け、施設長の許可を受けて実施するものです。
⑦研究の対象と調査項目	2008年1月1日～2023年3月31日間に、クロザピン、m-ECT、LAIによる加療された方。 診療録(カルテ)、レセプトから情報を調査します。これらはすべて通常の診療の範囲で取得されたものであり、研究目的で行われた項目はありません。 患者の皆様は新しく検査をしてもらったり質問に答えてもらったりすることはありません。 具体的には、カルテ(性別、年齢、入院退院年月日、精神科の病気の治療経過、臨床症状(評価尺度含む)、検査結果(採血データ、生理検査、脳画像検査、核医学検査)、CLZ、m-ECT、LAI等の施行データ)を用います。
⑧資料・情報の他機関への提供	千葉県精神科医療センターへ収集され、厳重な管理の下で保存されます。
⑨個人情報の取り扱い	厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学研系研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のもとに実施されます。使用するデータベースは匿名化が施されており、個人情報が提供されることはなく、個人情報を扱うことはいたしません。したがって対象者の方の個人情報が洩れることはありません。
⑩本研究の資金源(利益相反)	本研究の実施にあたり、利益相反はありません。
⑪お問合せ先	袖ヶ浦さつき台病院 総務課
⑫備考	